

下野新聞

しもつけ
発行所 宇都宮市昭和1丁目8番11号
〒320-8886
下野新聞社
電話 028-625-1111
郵便振替口座 00180-1-623433
©下野新聞社2011
読者室 028-625-1179
(受付月～金・午前10時～午後6時)
編集局 028-625-1121
販売部 028-625-1120(販売)
営業局 028-625-1134(事業・情報)
営業局 028-625-1133(広告)
下野新聞社ホームページ
http://www.shimotsuke.co.jp/

号外

下野新聞1週間無料お試しキャンペーン実施中!
試読・購読の申し込みは
0120-810081
お申し込みは



菅首相 退陣へ

内閣不信任案は否決

小沢氏 大量造反回避

衆院は2日午後の本会議で、自民、公明、たちあがれ日本の3党が提出した内閣不信任決議案を反対多数で否決した。菅直人首相はこれに先立って民主党代議士会で東日本大震災復興、福島第1原発事故対応に一定のめどがあった段階で退陣する意向を表明。これを受け、不信任案賛成の意向だった鳩山由紀夫前首相らが反対に転じた。小沢一郎元代表は棄権した。



内閣不信任決議案を採決する衆院本会議に臨む菅首相(2日午後)

不信任案投票結果

賛成	反対	棄権
152	293	33

震災復興や原発事故の収束が喫緊の課題の中で、不信任案が可決されれば、憲法の規定に基づき首相は10

日以内に衆院解散・総選挙か、内閣総辞職を判断する必要があった。首相の退陣表明を踏まえ、民主党内で不信任案可決による震災対応への影響を懸念する声が強まり、大量造反は回避された。ただ、今後「ポスト菅」をめぐる駆け引きが活発化するのには必至だ。首相の進退をめぐっては、5月31日夜に会談した鳩山由紀夫前首相が退陣を要求。小沢一郎元代表は1日夜、記者団に「国民が支

原発事故対応 一定めど後に

内閣不信任決議案が否決され、菅直人首相は当面続投することになった。首相が東日本大震災や福島第1原発事故対応に一定のめどがあった段階での退陣を表明したことを受け、造反に歯止めがかかった形だ。ただ、野党の協力獲得が厳しい状況に変わりはなく、小沢一郎民主党元代表らの首相に対する不満も根強い。首相自ら区切りを示したものの、政権基盤が安定するかは見通せない。震災発生後、首相は被災者支援の遅れを指摘されたほか、原発事故の初期対応や事故情報の「隠蔽」を批判された。復旧・復興に向けた態勢整備にはやり、谷垣禎一自民党総裁に電話で入閣を求めた「拙速さ」も不信任案提出の背景となった。首相周辺は当初、「不信任案が可決されれば必ず解散する」と強調していた。しかし被災地での選挙実施が困難視されたことに加え、造反が予想以上に拡大する様相を見せ、退陣表明というカードを切らざるを得なくなった。政局が混乱すれば、復興に悪影響を及ぼすとの議員心理が強く働いたことも間違いない。不信任案否決を機に、自民、公明両党と菅政権の対決色はいったん弱まるとみられる。両党とも復旧・復興に向けた早急な取り組みを主張しているが、公明党の支持母体・創価学会では「菅アレルギー」が根強い。自民党でも菅首相の指導力に否定的な見方が支配的で、与野党協力が難航する可能性もある。

辞任表明で結束訴え

直前まで多数派工作

菅直人内閣の命運を握っていた内閣不信任決議案は一転、民主党の小沢一郎元代表グループが反対する方針を決めたことで、否決された。2日午後始まった衆院本会議。冒頭、自民党の大島理森副総裁は重ねて政権を批判。場内は拍手とや

じに包まれたが、菅首相は穏やかな表情、小沢元代表は姿を見せなかった。本会議直前に国会内で開かれた民主党代議員会。菅首相は、まず政局の混乱を招いたことを陳謝。身内から大量造反の動きに追い

詰められたのか。表情は乏しく、疲労感がにじんだ。「民主党を壊さない、壊してはならない」「自民党に政権を戻すことがないようにする」。東日本大震災対応に一定の役割を果たし

た後に辞任する意向も表明。出席した約300人全員に切々と結束を訴えた。この日午前、菅首相に近いグループは国会内で結束を確認した。対する小沢元代表側も政権批判を強め、両陣営は票固めを加速。直前まで多数派工作は続き、「決戦」に向けた緊張感が一気に高まった。

民主党の旧民社系グループの約20人は午前10時から会合。不信任案には反対する方針を確認し、同グループ会長の田中慶秋衆院議員は「多くの国民や、被災地の人も『われわれを本気で考えているのか』と思っ

ている」と訴えた。両陣営の説得工作は2日午前も続いた。不信任案に反対方針を表明している樽床伸二元国対委員長に近い1期目の衆院議員は「小沢さんの側近の議員から『樽床さんを(賛成に)回るよう』口説いてくれ」という説得があった。自主投票の鳩山由紀夫前首相グループに所属する当選1回の議員事務所には、次々と菅首相支持の議員が訪れた。「反対を求められた。締め付けが激しくなった」と打ち明けた。

「(首相の)首をすげ替えればすむ問題ではない」と怒りをあらわにするのは、岩手県陸前高田市の菅野修さん(57)。経営するスポーツ用品店が津波で流された。「そんなことをやっている場合じゃないはず。(首相を)批判するだけではなく、復興に向けたビジョンを自ら示すのが先で」と野党側を強く批判。中選挙区制時代、小沢一郎民主党元代表の選挙区だった同市。地元を苦しめた。目には、政局を仕掛ける小沢氏の姿勢に「被災者の気持ちどれだけ分かってるのかね」と首をひねった。岩手県復興局の担当者は「被災者の生活再建や町づくりを考えているただ中。どうしてこのタイミングなのか。政局優先で被災者は置き去りにされている」と不満を漏らした。

菅首相発言のポイント
 ●東日本大震災の復興・復興、原発事故の収束に一定のめどがついた段階で、若い世代にいろいろな責任を引き継ぐ
 ●私達は、復興・復興に道筋をつけ、原発事故を1日も早く収束させなければならない
 ●今後は三つのことを目標に取り組みする。①原発事故の収束と復興の最大限努力②民主党を壊さない、壊してはならない③民主党中心の政権を対立に代えたいようにしっかりと

「被災地そっちのけ」

権力争いに不満、怒り

「被災地はそっちのけか」「争っている場合じゃない」

「被災地はそっちのけか」「争っている場合じゃない」とあきれた様子。

同県南三陸町の中学校に避難している主婦渡辺幸美さん(42)は、菅首相の辞任言及に「責任をしっかりと果たしてほしい。誰が頭になろうと同じ」。福島市の無職男性(73)は「首相の言う『一定のめど』など何の担保もない。場当たり的で哲学のない首相、腰が据わっていない政府、永田町と福島の距離がどんどん

争っている場合ではない」とあきれた様子。

「被災者の生活再建や町づくりを考えているただ中。どうしてこのタイミングなのか。政局優先で被災者は置き去りにされている」と不満を漏らした。

「被災者の生活再建や町づくりを考えているただ中。どうしてこのタイミングなのか。政局優先で被災者は置き去りにされている」と不満を漏らした。

「被災地はそっちのけか」「争っている場合じゃない」とあきれた様子。

「被災地はそっちのけか」「争っている場合じゃない」とあきれた様子。

同県南三陸町の中学校に避難している主婦渡辺幸美さん(42)は、菅首相の辞任言及に「責任をしっかりと果たしてほしい。誰が頭になろうと同じ」。福島市の無職男性(73)は「首相の言う『一定のめど』など何の担保もない。場当たり的で哲学のない首相、腰が据わっていない政府、永田町と福島の距離がどんどん

争っている場合ではない」とあきれた様子。

「被災者の生活再建や町づくりを考えているただ中。どうしてこのタイミングなのか。政局優先で被災者は置き去りにされている」と不満を漏らした。

「被災者の生活再建や町づくりを考えているただ中。どうしてこのタイミングなのか。政局優先で被災者は置き去りにされている」と不満を漏らした。



民主党代議員会終了後、議員と握手する(左から)菅首相、岡田幹事長。2日午後、国会(代表撮影)

菅内閣の歩み (府書は当時)

2010年	6月4日	衆参両院が菅直人氏を第94代首相に指名
	8	菅内閣が発足
	17	首相が消費税率引き上げ方針を表明
	7-11	参院選で民主党大敗、与党過半数割れ
	8-10	日韓併合100年で植民地支配を謝罪する首相談話を閣議決定
	9-7	尖閣諸島付近で中国漁船が海上保安庁の巡視船に衝突。海保が船長を翌日逮捕
	14	民主党代表選で首相が小沢一郎元代表を破り再選
	17	菅改造内閣が発足
	25	那覇地検が衝突事件の中国人船長を釈放
	10-4	東京第5検察審査会が小沢氏を政治資金規正法違反で強制起訴すべきだとの議決公表
	24	衆院北海道5区補選で民主党候補が敗北
	11-1	ロシアのメドベージェフ大統領が北方領土の国後島を訪問
	13	横浜市でアジア太平洋経済協力会議(AP-EC)首脳会議。首相が米中ロ首脳と個別に会談
	22	国会軽視発言で柳田稔相を更迭
	23	北朝鮮が韓国・延坪島を砲撃
	26-27	2010年度補正予算が成立。参院で仙谷由人官房長官、馬淵澄夫国土交通相の両議決可決
	12-12	茨城県議選で民主党が惨敗
11年	1-14	菅再改造内閣が発足
	31	小沢氏強制起訴
	2-22	民主党が小沢氏の議員資格停止を決定
	3-6	外国人献金問題で前原誠司外相が辞任
	11	首相が在日韓国人からの献金受領を認める。東日本大震災が発生
	19	首相が自民党の谷垣一総裁に入閣を要請。谷垣氏は拒否
	29	11年度予算が成立
	4-10	統一地方選挙で民主党が敗北
	14	政府の復興構想会議が初会合
	24	統一地方選挙で民主党が敗北
	5-2	11年度第1次補正予算が成立
	6	首相が中部電力に浜岡原発全面停止を要請
	13	政府が復興基本法案と、閣僚3人増に向けた内閣法改正案などを国会に提出
	14	中部電力が浜岡原発を全面停止
	21-22	日中韓3カ国首脳が被災地を訪問。都内で首脳会議
	26-28	主要国(G8)首脳会議。日・欧州連合(EU)定期首脳協議
	6-1	自民、公明、たちあがれ日本の3党が内閣不信任決議案を共同提出
	2	首相が民主党代議員会出席で、東日本大震災対応に一定のめどがついた段階で退陣の意向を表明

止めている。今回、このような不測の事態となったが、今後は挙党一致で取り組んでほしい。

瀬戸際で混乱防ぐ

山村武彦防災システム研究所長の話(菅首相の辞任言及は)内閣不信任案を突き付けられた上での瀬戸際の発言だが、混乱を防ぐという意向の表明で、一定の評価はできる。現段階での政治空白、リーダー不在は一層の混乱をもたらす。首相が辞任の時期として示した「一定のめど」とは、復旧・復興に向けた補正予算が、原発事故の収束への工程表が軌道に乗った段階だろう。早ければ年内にも成し遂げてほしい。

緊迫感なく逆効果

政治学者の白鳥令・日本政治総合研究所理事長の話。辞任の意向表明が遅すぎた。民主党内では菅さんが権力を独占しすぎ、小沢一郎さんなど被災地を選挙区とする議員を排除しているという危機感が高まっている。周囲は復興への枠組みが決まってしまう前に退陣を望んでいる。緊迫感のない辞任表明と受け止められ、むしろ逆効果。